

夢きよく道はるか

平成28年10月4日
甲府市立東中学校
28年度第8号

三原色が一本の大きな光に！

600人の気持ちが一つになった第40回東輝祭

今年の東輝祭は、「三原色～光が織り成す新たなストーリー～」のテーマのもと、12日に発表・展示部門、雨天で延期になりましたが、15日に競技（体育）部門を実施しました。競技部門が2日間延期になったことで、生徒の気持ちの変化が気になりましたが、そんな心配は全く必要ありませんでした。全校生徒の気持ちが一つになって、40回という記念すべき節目を飾るのにふさわしいすばらしい東輝祭になりました。特に、3年生にとっては最後の東輝祭でした。仲間と創った最高の思い出になったことと思います。



<開祭式のーコマ>



<伝統のソーラン節>



<吹奏楽部の発表>



<2年生発表 「道へ」>

1日目は、生徒会本部のパフォーマンスによる開祭式に続いて、伝統のソーラン節、演劇部の発表「五番目の願い事」、そして、吹奏楽部は、夏のコンクール曲をはじめ、楽しい演奏で会場を盛り上げました。昼休みの展示見学を終えて、午後は、各学年の思いがこもった劇と合唱による学年発表でした。1年生は、「星の王子さま」、2年生は、「道へ」、そして3年生は、甲府空襲を悲惨さから平和の大切さを訴えた「あの日見た青い空」でした。とても質の高い迫真の演技や心に響く合唱に会場内から大きな拍手が起きました。どの学年も、取り組み期間が短い中にもかかわらず、素晴らしい仕上がりでした。



<ブロック種目 棒取り>



<ブロック対抗リレーのアンカー>



<閉祭式での全校合唱「ケサラ」>



<閉祭式での応援>

2日目の競技部門は、長縄跳びやムカデ競争など、各学級の団結力や練習の成果が問われるものでした。また、綱引き、棒取り、リレーなどの各種目も、クラスやブロックの作戦や戦術が発揮され見応えがありました。生徒一人ひとりが「一人はみんなのために」、「みんなは一人のために」の気持ちで真剣に競技している姿は、とても熱く感動的でした。

また、閉祭式は、各種表彰、スライド、全校合唱、応援で2日間を締めくくりました。三原色が、一つの大きな光に輝く瞬間でもありました。東輝祭を通じて、仲間の大切さや集団の力の大きさを感じました。今後の学校生活に生かしてほしいと思います。

平日にもかかわらず、また、駐車場も用意できないなかで多くの保護者や地域の方々の応援をいただきました。改めて皆様のご支援に深く感謝とお礼を申し上げます。

2年生鈴木さん優秀賞を獲得！

9月27日に、昭和町の押原中学校において、中学生防犯弁論大会が、県内13の警察署管内の大会で最優秀賞（優勝）を獲得した生徒が参加して実施されました。本校の鈴木^{かなむ}叶夢さん（2-6）は、甲府警察署管内の防犯弁論大会で最優秀賞を獲得し、本大会に臨みました。「四角い世界に迷わない」というタイトルで、ネットトラブルやネット依存に陥らないために、使用目的をはっきりさせること、知らない情報に入っていないこと、自分の周りをしっかり見つめることなどを訴えました。また、学年生徒会で決めた9時以降のスマホの使用禁止や私的なグループトークをやめることなどの内容が、審査員から高く評価され、優秀賞（準優勝）を獲得しました。彼女の弁論は、とても堂々としていて立派でした。おめでとうございます。

